

第15回 うらやす景観通信

平成26年1月6日発行

浦安市役所都市整備部都市計画課

TEL 047-351-1111(内線 1954・1957)

FAX 047-353-4378

メール toshikei@city.urayasu.lg.jp

あけましておめでとうございます。今年も「うらやす景観通信」をよろしくお祈いします。

お正月は親戚の方々を迎えた方や、郷里に帰省したという方もいるのではないのでしょうか。どこかに出かけた時、誰かを迎えるといった時に、まちの玄関口となるのが駅です。市内には3つの駅がありますが、景観という分野において浦安市が力を入れている駅ですと「新浦安駅」があげられます。そこで、今回は「**景観計画⑩ 景観まちづくり、新浦安駅周辺 ver.**」というテーマでお送りいたします。



震災前の交通広場

新浦安駅周辺は、駅舎、周辺の商業施設、ホテルなども含め、「景観重点区域」に指定されています。言ってみれば浦安の顔ですね。なぜ重点区域として指定されたかということ、昭和63年の駅の暫定開業に向けて、周辺の事業者と行政が協議を重ねて、建築物と公共施設を一体的デザインとしたことで、これまでにない景観特性を持った景観が創出された経緯があります。そのため、今後も景観に力を入れていこうとしているのです。

そういった経緯を経て創出された景観特性としては、「広場がゆとりある駅前景観を形成して

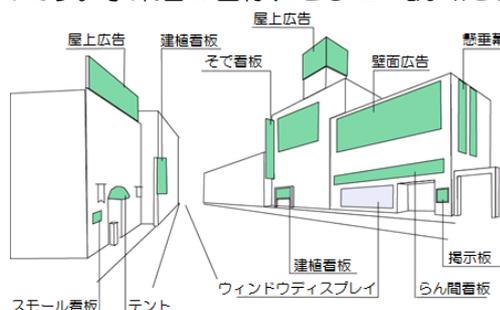
いる」・「緑が潤いのある景観を演出している」・「調和のとれた建築物の形態・デザイン・色彩となっている」・「商業系の建築物が集積しているが、穏やかな色調が多く、華やかでありながらも品位が感じられる景観を形成している」などがあげられます。

しかし、震災の影響で新浦安駅周辺は大きく変わってしまいました。現在は復旧工事の真っ最中です。みなさんのご理解とご協力をお願いします。



震災直後の新浦安駅前

また、新浦安駅周辺には、「屋外広告物が増加傾向にあり、秩序ある落ち着いた景観が変容しつつある」といった景観特性もあります。景観計画には屋外広告物についても方針が定められているんです。事業者の皆様、ぜひご一読ください！



参考 屋外広告物の種別

次回は「**景観計画⑪ 景観まちづくり、新町 ver.**」というテーマでお送りします。

先月に引き続き、市民活動団体「うらやす景観まちづくりフォーラム」に、景観通信の記事の執筆をお願いしています。今回は「景観資源リスト」の構成についてのご紹介です。

「景観資源リスト」の構成紹介

これまでの景観通信で紹介してきたように、わたしたちの団体「うらやす景観まちづくりフォーラム」は、平成 21、22 年度市主催による「景観資源リストづくり」の参加者を母体としています。今回は、2 カ年の成果をとりまとめた「景観資源リスト」について紹介します。

- ・ 「景観資源リスト」は市のホームページで紹介されています。都市計画課作成の「景観まちづくり（景観計画・景観条例など）」のページから閲覧することができます。
- ・ 「視点場」「史跡」「道路」「公園」「水辺」「建物」「工作物」といった分類にしたがい、市内の景観が 134 件の「うらやす景観資源はっけんシート」にまとめられています。
 - ・ 「うらやす景観資源はっけんシート」には種類や場所、時代や季節などとともに選定理由が紹介されています。どのような景観資源が紹介されているか、一度、ご覧ください。

次回以降は、元町のよさに着目する「歴史」、街路樹や生け垣、水辺に着目する「緑」、点と線からなる景観資源の全市的な繋がりを目指す「ネットワーク」の3つの分類に沿って景観資源リストの内容を紹介していきます。



写真：「景観資源リスト」内容確認の様子

■ イベント案内

東野・弁天地区（東野コモンシティ・ふれあいの森公園・見明川団地）のまち歩きを行います。

1月13日（月曜日・祝日）10時

富岡公民館集合

参加希望の方は、うらやす景観まちづくりフォーラムまでご連絡ください

【景観資源リスト】の紹介ページ



1) 浦安市のホームページに「景観資源リスト」の紹介ページがもうけられています。



2) 134 件の景観資源が紹介されています。

編 集 うらやす景観まちづくりフォーラム TEL 090-4412-2455（代表・小林）

メール yut-koba@jcom.home.ne.jp

ブログ <http://ukm-forum.blogspot.jp>